

# 1 工区 出土状況



1号人骨



2号人骨



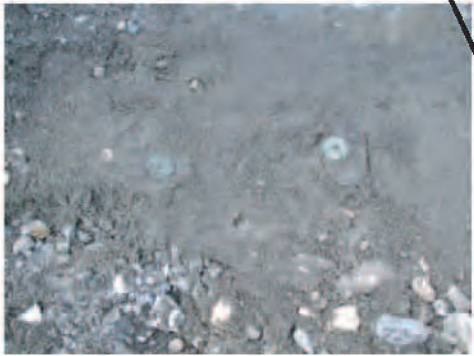
皇宋通寶



7号人骨



8号人骨



元豊通寶 熙寧元寶



配石列検出状況（北から）



3号人骨



配石列検出状況（北東から）



4号人骨



5号人骨



6号人骨

## 見つかった配石列について

見つかった配石列は直線的で東西に長く、1工区だけで約20mを測ります。西側は調査区の外に延びていると考えられます。東側にむけて徐々にまばらになっていき、2工区内で消滅すると見られます。

石材は砂岩や安山岩が多く認められます。ほとんどは扁平円礫で、大きさは拳大から人の頭くらいのもまで見られます。この石は、地形が急激に変わるか所の斜面部にまとまっています。また配石列の南側にもまばらな石の散布が認められました。

これらの石は粒の細かい海砂とともに堆積していました。このような海砂に扁平円礫が散布している状況は、現在でも親不知ピアパークなどの海岸で似たものを見ることが出来ます。